

授 業 科目名	【 G 】	フレッシュマン・セミナーⅠ	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	フレッシュマン・セミナーⅠ	必 履 修			【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	オムニバス							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	大学生が身につけたい基礎的な知識とスキル				担当者	大西・田中(将)・後藤・大倉・加納 谷津・豊岡・見崎・青柳・榎本・酒本		
授業概要	【概要】	大学での生活や学びをスタートするにあたり、学生に身につけてほしい基礎的な知識とスキルを取り上げる。あわせて、学生生活の場となる木更津及び周辺地域についての理解を深める。加えて、全担当教員によるオムニバス形式の講義を通じて幅広い分野に触れる機会を設け、大学での学びに対する興味・関心を喚起する。以上により、高校での学びを踏まえながら大学での学びに接続していく初年次教育を行う。						
	【実務(新聞記者)経験を活かした授業：見崎】	新聞社での実務経験を持つ教員が、取材記者としての経験を基に情報収集や分析の方法を具体例とともに伝える。マスメディアの役割やメディアリテラシーの重要性も学び、大学での学びを深めるサポートをする。						
	【到達目標】	・充実した大学生活を送るために、大学の仕組みや決まりなどについて理解することができる。 ・大学での学びに求められる、文章読解やレポート作成に関する基礎的なスキルを身につけることができる。 ・木更津市観光協会との連携のもと、木更津及び周辺地域についての理解を深めることができる。 ・オムニバス授業を通して、さまざまな専門分野に触れることで幅広い教養を形成する。						
履修条件	特になし。ただし、学期始めのガイダンス時にクラス指定が行われる。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ (当てはまらない)					
他科目との 関連性	本科目のオムニバス授業が「フレッシュマン・セミナーⅡ」(1年後期)のクラスを選択する際の参考となる。							
教科書	『大学生 学びのハンドブック[6訂版]』(世界思想社)							
参考書	各担当教員が授業時に紹介する。							
評価方法	授業への参加度(50%)、課題やレポートなど(50%)を総合的に評価する。							
フィードバック 方法	課題やレポートへのコメント							
評価基準	授業に積極的に参加して、学習した内容をよく理解し、課題を達成できた者にはその程度により「S」または「A」、不足がある場合にはその程度により「B」または「C」とする。参加度や達成度が著しく低い者はその程度により「D」または「E」、6回以上欠席するなど判定不能な者は「F」とする。							

授 業	【 G 】	フレッシュマン・セミナーⅠ	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	フレッシュマン・セミナーⅠ	必 履 修		【 H 】 1		【 H 】 2
授業内容	<Ⅰ. 大学生の基礎的な知識とスキル> 1. ガイダンス (1)「フレッシュマン・セミナーⅠ」とは(初年次教育の意義) (2)仲間をつくる(自己紹介) 2. 大学について知ろう (1)清和大学とは(君津学園の沿革、大学の特色) (2)大学の仕組みを知る(セメスター制、履修登録、出席要件、成績評価、単位取得など) (3)大学の施設・設備をいかに活用するか(各施設の紹介と利用方法) (4)大学生活4年間をどう過ごすか(キャリア形成、学生を取り巻く犯罪への予防、将来の展望、資格の取得など) 3. 大学の学びを知ろう (1)授業にいかに関与するか(受講の姿勢、予習・復習の意義、ノートの取り方とその活用など) (2)本や新聞をいかに読むか(情報の収集、読解・分析など) (3)レポートをいかにまとめるか(要約、引用のルールなど) (4)発表をいかに組み立てるか(資料の収集と分析、効果的なプレゼンテーションなど) (5)試験にいかに関与するか(日頃からの準備、復習とノートの整理など) <Ⅱ. さまざまな学びに触れる(オムニバス授業)> ・フレッシュマン・セミナー全担当教員(いずれも法学以外が専門)の授業を一度ずつ受講する。 ・各教員の専門分野や関心のある分野に関連して、初年次教育として学生に身につけさせたい知識・スキルを取り上げる。 ・木更津市観光協会との連携のもと、木更津市の概要や特色について学ぶ。 <Ⅲ. 振り返り> ・クラス担当教員と半期の授業を振り返る。						
予習内容	授業で指示のあったテキストの範囲や資料などを熟読する。 予習は各120分程度を目安とする。						
復習内容	授業で学んだ内容について振り返り、ノートを整理する。 復習は各120分程度を目安とする。						
その他	・演習主体の科目であるため、授業を休まずかつ遅刻せずに出席して積極的に取り組むこと。 ・対面授業を基本とするが、オムニバス授業の回はオンラインで実施する(詳細な実施方法は授業内で説明する)。 ※Gカリ:【必履修(○え)】						